



令和4年度学生募集要項は、11月上旬から下記の方法で入手できます。



「テレメール」を利用して学生募集要項の資料が請求できます。

<https://telemail.jp>

資料請求番号
募集要項 582700
募集要項・案内 542700



お問い合わせ先／テレメールカスタマーセンター tel.050-8601-0102(9:30~18:00)



「モバっちよ」を利用して学生募集要項の資料が請求できます。

<https://djcm-mb.jp/juen2/>



お問い合わせ先／モバっちよカスタマーセンター tel.050-3540-5005(平日10:00~18:00)

学生募集要項は、本学ホームページに掲載していますので、
ダウンロードすることも可能です。

その他直接請求などについては、上越教育大学入試課まで tel.025-521-3294



JOETSU UNIVERSITY of EDUCATION

国立大学法人

上越教育大学

大学案内

2022

ぜったい先生に
なりたい人の
ための大学

精深な学識と高邁な精神を 教育実践の場で体現する教員を目指そう

小学校の教員を勤め上げ、校長職を最後にご退職されて、上越教育大学の教員になられたある先生が、大勢の大学生を前にして、「優秀な教員になれる人とそうでない人はすぐわかる」とおっしゃいました。それは、高い志があるかどうかだそうです。もちろん、それは彼の経験から導き出されたことで、一般化できるかどうかはわかりません。しかし、私は人間の生き方に関する一面の真理を表しているように感じました。

皆さんは「教員になりたい」とお考えだからこそ、今このパンフレットを手に取り、読み始めているのだと思います。では、なぜ教員になりたいのでしょうか。「子どもが好きだから」、「教えることが楽しいから」、「不景気でも安定した給与が保証されるから」、「憧れの先生がいて、こんな人になりたいと思ったから」など、人それぞれに、違った理由があるかもしれません。しかし、その理由が自分の利益のことばかりであったなら、どうでしょうか。つらいことにであったとき、「こんなつらい仕事をなぜやらないといけないのか。やめちゃおうかな」というようなことになったりはしないでしょうか。

どんな職業でも、たぶん、つらいことや苦しいことはあります。しかし、人はそうした困難な状況乗り越えることで、人間としていっそうの成長を遂げるのではないのでしょうか。さまざまな職業において、困難な状況でこそ、人はそれを解決する術を学び、その経験はそのあとの仕事のやりがいへとつながっていくのではないのでしょうか。

もちろん「子どもが好きだから」というような理由も、教員を目指す者にとって必要な資質の一部だと思います。安定した給与がもらえるということだって、生活のためには必要なことです。しかし、それに加えて、社会に貢献するとか、高い目標を掲げているとか、困難を避けて通ることはしないとか、良い教員になるために学び続ける覚悟でいるとか、そういった高い志をもつことが教員を目指す者には必要なのではないのでしょうか。

高い志を持つということは、しかし、社会的地位や名声を得るといような野心を持つということとも少し違います。高い目標を掲げたつもりでも、自分の社会的地位や名声だけを気にかけているということでは、結局は自己の利益を追求するだけのことに留まってしまう。

高い志は、高邁な精神と表現されることもあります。高校で「倫理」を学んだ人は、フランスの哲学者デカルトの用語として記憶している方もいらっしゃるでしょう。

本学は高い教員就職率を誇っていますので、入学された方々の多くは教員になります。しかし、それが最終目的というのは少し寂しい気がします。皆さんには、大学で学んだ学習成果を生涯かけて精深な学識にまで高め、そして高邁な精神をもって教育実践に当たる、そうした教員になっていただきたいと思います。



上越教育大学長

林 泰成

上越教育大学創設の趣旨・目的

上越教育大学は、1978年（昭和53年）10月1日に設置された国立の新構想教育大学です。本学は、我が国の教育大学及び学部が築き上げてきた教員養成の成果に立脚して、さらに教育者としての使命感、人間愛、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、優れた教育技術など専門職としての高度な資質能力の養成といった今も変わることのない社会的要請に応えるために、創設されました。

そのため、本学は開学当初から、教育の最も基本となる初等教育教員の養成を行う学校教育学部と学校教育の場における教育研究の推進者を養成する大学院学校教育研究科（修士課程）を設けています。

学校教育学部のカリキュラムは、上記の新構想の理念に基づき、特に教育実習の拡充を図り、実践的・体験的な授業内容を重視するなど、本学独自の内容と方法を誇っています。教育実習を始め、種々のボランティア活動・体験活動プログラムなどで、強く地域と連携しており、教育実習では、地元の上越市及びその周辺地域の小学校、中学校など、全部で130校園の協力を得ています。このように地域に支えられた大学であることが、本学の大きな魅力となっています。

本学卒業生の教員就職率は、国立の教員養成大学・学部においてトップクラスを占めています。また、開学以来、多くの卒業生が全国の学校現場で活躍しており、都道府県教育委員会などより、その実践的な能力が高く評価されています。

1996年（平成8年）4月には、本学、兵庫教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学を構成大学とする「兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」が、教員養成系としては初めて設置され、2019年（平成31年）4月に岐阜大学、滋賀大学が加わり6大学の構成となりました。また、2008年（平成20年）4月には、教職大学院制度の創設に合わせ、大学院学校教育研究科に専門職学位課程（教職大学院）を新たに設置しました。

現在の上越教育大学は、学部、大学院（修士課程・専門職学位課程）と連合大学院（博士課程）を擁する「教育の総合大学」としての体制を整え、今日に至っています。

上越教育大学は、21世紀において、我が国の教員養成と教育実践研究の拠点となることを目指しています。

教育研究組織（令和3年4月1日現在）

上越教育大学

学校教育学部

初等教育教員養成課程

大学院学校教育研究科

修士課程

専門職学位課程（教職大学院）

兵庫教育大学大学院連合
学校教育学研究科(博士課程)

附属図書館

センター等

学校教育実践研究センター

保健管理センター

情報メディア教育支援センター

心理教育相談センター

特別支援教育実践研究センター

国際交流推進センター

総合学生支援室

学校実習・ボランティア支援室

プレイスメントプラザ

障害学生支援室

教科内容先端研究センター

健康教育研究センター

いじめ・生徒指導研究センター

附属学校

附属幼稚園

附属小学校

附属中学校

ぜったい先生になりたい人をサポートする！ 上越教育大学12の特色



- 1 **適性と課題を見つけ
2年次にコース選択**
1年次に自分の適性と課題を見つけた上で、2年次から専門性を深めるため、希望のコースへ所属。
p.7
- 2 **全国から学生が集まる大学**
教員への夢を実現するため、北は北海道から南は沖縄県まで全国各地から学生が集まる大学。
p.14
- 3 **人間理解をめざした
豊富なカリキュラム**
教育の基本である人間そのものの理解から始まり、実践的指導力など教員に必要な資質・専門性を高めていくための充実したカリキュラム。
p.15
- 4 **小一種免許から
幼・中・高一種免許
まで取得可能**
卒業要件としての小学校教諭一種免許状のほか、様々な教員を目指して幼・中・高教諭一種免許状も取得可能。
p.15
- 5 **保育士などの資格取得**
保育士、学校図書館司書教諭の資格が取得可能。
p.15
- 6 **少人数教育のシステム**
1年次は1クラス10人程度のグループ、2年次以降はコース・領域の特定分野に分かれての少人数による履修。
p.16
- 7 **充実した教育実習を
1年次から開始**
教育実習を1年次から実施し、学校現場の理解を深め、さらに専門科目を習得した上で本格的な実習を行い、即戦力となる教員を養成。
p.17
- 8 **地域や学校での
ボランティア活動**
地域の教育機関や学校現場でのボランティア活動を通して、教員として求められる社会性や対人関係能力を向上。
p.18
- 9 **異文化理解マインド
を持った学生の育成**
海外の学校で授業参観・実践を行う授業科目「海外教育研究」の開設、留学生との交流や外国につながる子どもたちへの修学支援。
p.19
- 10 **現職教員との交流が活発**
小・中学校などの現職教員が毎年50人程度大学院に入学。授業などでの交流を通し、直接、現場の様子が学べる環境。
p.22
- 11 **充実した就職サポート**
教員就職率 80.0%!!
キャリアコーディネーターによる教員採用試験対策、計画的な教員採用試験対策講座など入学時から教員への夢を実現するために強力サポート。
p.23
- 12 **大学会館や学生宿舎による
生活サポート**
大学会館内の施設は学生証を使いキャッシュレスで利用可能。学生宿舎は大学のキャンパスに隣接し多くの学生が入居。
p.31

CONTENTS

- 1 学長からのメッセージ
- 2 創設の趣旨・目的／教育研究組織
- 3 上越教育大学の特色
- 5 **ぜったい「先生」になりたい！
先輩たちの声**
- 学校教育学部**
- 7 入試の概要／令和3年度入学者選抜状況／入学～在学～卒業までの流れ
- 9 コース・領域の紹介
- 14 出身都道府県別在学者数
- 15 カリキュラム（特色のある教育課程）／卒業要件と取得できる免許状・資格
- 16 副専攻プログラム／6年一貫教育プログラム／少人数教育のシステムとクラス制度
- 17 教育実習の重視
- 18 ボランティア活動の授業化／学校実習・ボランティア支援室／上越教育大学のボランティア
- 19 「海外教育研究」の実施／海外交流協定校／留学生交流・地域支援
- 20 在学中の保険と相談窓口
- 21 納付金と奨学金
- 22 大学院との関連／大学院学校教育研究科
- 就職・進路**
- 23 プレイスメントプラザ／キャリアコーディネーター／就職支援 教員採用試験対策講座等
- 24 教員採用試験対策スケジュール／就職状況
- 25 学びのひろば
- Campus Life**
- 27 キャンパスカレンダー／上教大生の1日
- 28 課外活動
- 29 **Campus Map**／学生サポート施設
- 36 キャンパス周辺
- 37 本学へのアクセス／問合せ先
- 38 オープンキャンパス

Interview



先輩たちの声

上越教育大学に入学して一年過ごした先輩たちにインタビュー。なぜ上教大を選んだのか、授業の様子、課外活動や大学生活のこと、いろいろ話してもらいました！

上教大を選んだ理由は？

私は高校生の時はまだ小・中・高校のどの教員になりたいかまでは考えることができていませんでした。上越教育大学はすべての教員免許に対応できるシステムが整っていて、学びながら決められるという点が私にとっては最適な環境と感じ、選びました。また、教員採用試験の合格率が非常に高いことも大きな魅力でした。

大学生生活の様子を教えてください。

入学直後から前期の間はずっとオンライン授業で、かなり寂しい思いもしたのですが、そんな厳しい状況下でも先生方の「なんとかして学生に学びを届けたい」という強い姿勢はとても印象的でした。上教大は実際に教員として長年教壇に立ってこられた先生方が多くいらっしゃるため、実践的な指導方法や経験談を聞かせていただけるのもこの大学の魅力だと思います。

後期からは対面授業が増え、部活動も始まり、今ではたくさんの友人や優しい先輩方に囲まれて楽しい大学生活を送ることができています。目標に向かって真剣に取り組む人が多く、刺激ある毎日を過ごすことができています！

将来どんな先生になりたいですか？

中学～高校の頃は誰もがいろいろな悩みを抱える時期だと思うのですが、私は高校で真剣に寄り添ってくださる先生方に恵まれ、「私も先生になりたい」と思うようになりました。LGBTやLD、ADHD、外国人児童など、子ども達の一人ひとり異なるバックグラウンドやパーソナリティをすべて個性と受け止め、誰もが居心地の良いクラスが作れる先生になりたいです。



たなか はなさん
教科内容構成コース
(英語) 2年
石川県 七尾高校

上教大を選んだ理由は？

高校で出会った先生のおかげで「自分も教員になりたい」と思うくらいに世界史が大好きになり、高校の社会科教員が志望です。上越教育大学はその先生から「教員になりたいなら上越教育大学が良いんじゃないか」と勧められて検討し始めたのですが、自分でも調べてみたところ授業の充実度や教員就職率の高さに魅力を感じ、ここが最適と思い選びました。

大学生生活の様子を教えてください。

僕らの代は感染症拡大と入学の時期が被ってしまい、前期はほとんどの授業がオンラインだったため学生同士の対面機会がほとんど無く、ひたすら独りで受講と課題に向き合う日々はなかなか大変でした。でも後期からは対面授業が増え、上教大はやはり全員が教員志望だけあって活発な人が多く、顔を合わせるようになったらすぐに打ち解け、仲良くなることができました。

高校までの「宿題」と違って大学では講義ごとにたくさんの課題が出ますし、僕はサークルをふたつ掛け持ちしているのでかなり忙しくしています。でも、感染症禍の不自由な日々を経て“忙しさ”のありがたみが分かり、今はとても充実していると感じています。

将来どんな先生になりたいですか？

生徒一人ひとりを尊重し、1対1でしっかり向き合える先生、そして固定観念や教科書だけに囚われず、自分自身が生きた知識や情報を学び続ける教員でありたいと思っています。いずれ感染症が落ち着いたいろいろな国や地域を訪ね、子ども達に実体験を語れる先生になればと願っています。



なかじま かずと
中島 一翔さん
教科内容構成コース
(社会) 2年
茨城県 清真学園高校

上教大を選んだ理由は？

高校時代に初めて上越教育大学を訪ねた時、教員の卵である先輩方がとても温かいと感じ、私もここで学べたらと思ったからです。入学してみて、やはり男女・先輩後輩の隔てなく仲が良く、楽しく過ごせています。

また、昨年度は感染症の問題で残念ながら実施できなかったのですが、上教大では教育実習が毎年あるというのも、4年間を通して経験を積み、モチベーションを高く保てそうだと魅力に感じました。

大学生生活の様子を教えてください。

1年次では、全員がピアノの弾き語りをする(音楽)、実際に作品を作ってみる(図工)など、入学前には想像もしていなかった内容の講義もあり驚きましたが、まず自分自身が“教わる立場”を体験してみることで、教える側に立った時の視点が養われると感じました。

『人間教育学セミナー』では、なぜ教員になりたいか・どんな教員になりたいかなどを発表する機会があり、改めて自分と向き合うことができたし、他の学生と共有することで色々な考えを知る良い機会になりました。上教大生は皆「先生になりたい」という同じ目標を持っているので、お互いを刺激し高め合うことができる環境だと感じています。

将来どんな先生になりたいですか？

中学時代に部活の顧問の先生の熱心で親身な姿勢に心を打たれ、私もそんな先生になりたいと思うようになりました。運動が苦手な子も楽しめる授業ができるよう、運動と心理の関係性など、専門的なことをこれからしっかり学んでいきたいと思っています。



きくた ほのか
菊田 帆乃佳さん
教科内容構成コース
(保健体育) 2年
福島県 福島高校

上教大を選んだ理由は？

上越教育大学は自分の夢の実現のために学べることが多いと思ったからです。たとえば1年次の『自然体験学習』では雨のなか森に行って樹を切り倒すという実習があり、自分の手で幹流水に触れたり、木が倒れる瞬間の音や空気など、五感で刺激を受け、普通ではなかなか得られない体験をしました。いずれ総合学習の指導の際などに必ず生きてくる経験だと思います。

大学生生活の様子を教えてください。

衣食住をはじめ、自分で自分の責任を持つことが増えて大変さもありますが、今までになかった新しい挑戦もできるので、とても充実しています。

部活はアイスホッケーをしていて、入部前に見学した生の試合の面白さ、格好良さに感激して挑戦することにしました。まずともにスケートができないところからのスタートでし、すごく難しいのですが、先輩方から「転んでナンボ!」と励ましてもらいながら、楽しく頑張っています。

将来どんな先生になりたいですか？

小学校の時の担任が一人ひとりを本当によく見てくださる素晴らしい先生だったのですが、その先生が憧れの教師像であり目標となっています。

また、上教大でも素晴らしい先生に出会うことができました。その先生は学生たちに語り掛けるようにして授業を展開されるのですが、まるで物語を見ているように惹き込まれ、「自分もこういう授業ができる先生になりたい!」と、その後のコース選択の決め手となるくらいに影響を受けました。2年生以降の講義もとても楽しみです。



たかまつ としき
高松 宗生さん
学校教育実践コース
2年
新潟県 高志中等教育学校

上教大を選んだ理由は？

上越教育大学は教員を育てる専門の大学ですし、同じ目標を持つ人たちと切磋琢磨できるのが魅力的と感じました。学生数は少ないですが、同学年はもちろん先輩後輩のつながりも深く、逆に色々な人との関わりを持つことができています。

大学生生活の様子を教えてください。

想像していた大学は「講義を受けてレポートを書く」というイメージが強かったのですが、上教大では自分が教える前にまず教わる立場になって授業を受ける、というような「実際に体験してみる」機会が多く、楽しく学ぶことができています。それが今後、教育実習や指導法を学ぶ時の下地になると思いますし、2年生からはコースごとに専門的な学びが始まるので、楽しみにしています。

1年の時は中止になってしまった大学祭も楽しみなことのひとつで、サークル活動も頑張っています。大学、サークル、アルバイトに家事など、最初は大変でしたが、授業と授業の間の空き時間を利用するなど、今はもう自分なりの生活リズムができています。

将来どんな先生になりたいですか？

数学の教員を目指すことにしたのは自分の得意科目だったからですが、「先生になりたい」と思ったのはお世話になった中学校の先生の影響です。進路を考える時にも、その先生が掛けてくださった「大学は楽しいよ」という一言がずっと自分のなかに残っていました。私がその先生に感じていたように、生徒に「この先生で良かった」と思ってもらえるような先生になりたいです。



ひろせ ふうか
廣瀬 風花さん
教科内容構成コース
(数学) 2年
富山県 桜井高校

学校教育学部

入試の概要

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、次の入試を行います。（詳細は募集要項等で発表します。）

学校推薦型選抜

募集人員／50人

一般選抜

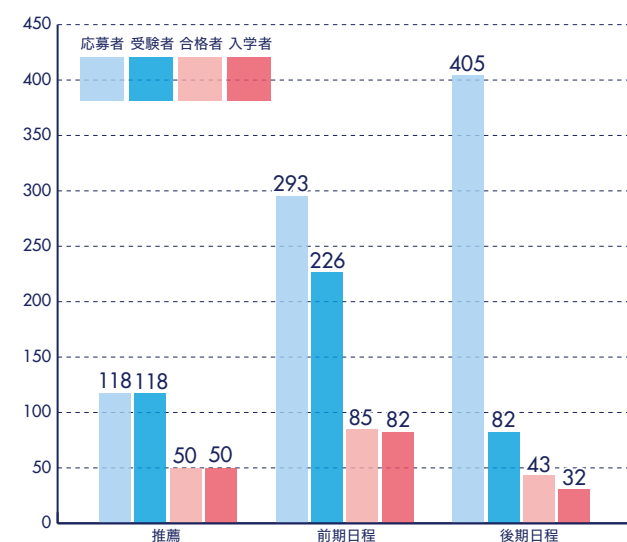
〈前期日程〉

募集人員／77人

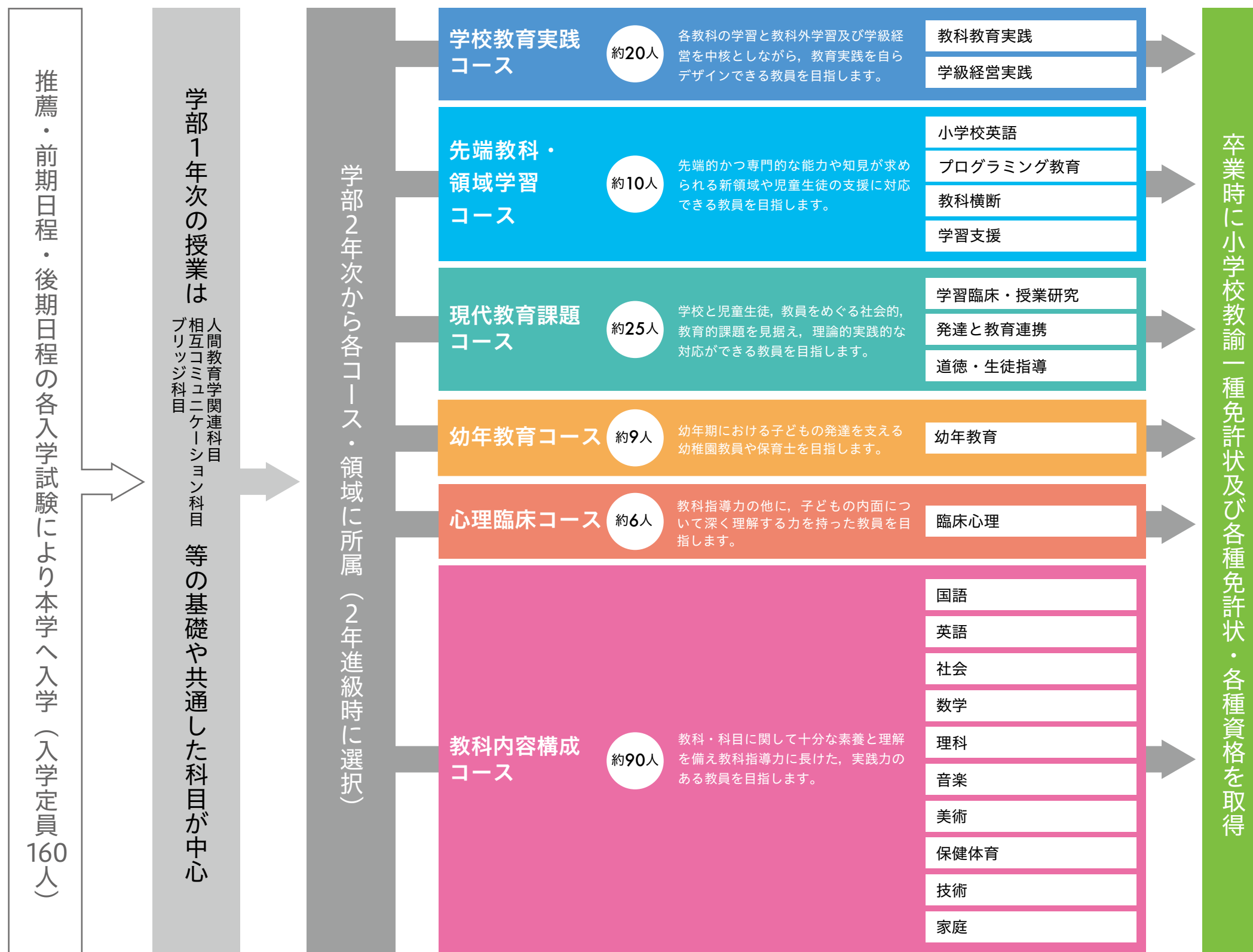
〈後期日程〉

募集人員／33人

令和3年度入学者選抜状況



入学～在学～卒業までの流れ



コース・領域の紹介

教職に
求められる力を
バランスよく学ぶ

学校教育実践コース

教科教育実践 学級経営実践

指導力の高い教師は、自分のよさや強みを伸ばしつつ、教職に求められる力をバランスよく持っています。本コースでは、自分の理想とする教師像を学びを通して描き、そのために必要な専門性を身に付けることを目指します。

教師には、さまざまな能力が求められます。教科の内容や教材などについて深い知識を持ち、質の高い授業ができることは勿論ですが、子どもたちにとってよりよい学びの環境をつくる学級経営をする力も必要です。また、教室で起こるできごとを正確にとらえ、すぐさま適切に対応する力、子どもの気持ちや行動の意味を理解し、寄り添う力、子どもの置かれた社会の状況についてきちんと理解していることなど、多面的で総合的な力を備えている必要があります。

その一方で、教師という仕事は一人でやるものではなく、同僚の教師たちと一緒に授業や行事を運営したり、保護者や地域の人々と協力して子どもの健全育成に取り組んだりなど、さまざまな人々と協同して行う仕事です。豊かなコミュニケーション力や、多様な人々と協力する力も求められます。

これらの力を身につけるには、大学で多くの知識や技能を学ぶだけではなく、学校現場に実際に関わることが大切です。そのため、学校教育実践コースでは、学校現場に実際に足を運び、そこで起きていることに学びながら、教職で求められる多面的で総合的な力を身につけていきます。

また、教職大学院と連携し、学部の子生とは立場の異なる大学院生と共に学ぶ機会を設けています。それによって、さまざまな人々と協力する力も高めていくことができます。

学校教育実践コースは、このような特色あるカリキュラムを通して、よりよい教育を実現する力、つまり、実践力を身に付けることができます。指導力の高い教師を目指して共に学びませんか。

4つの領域で
高める
新しい教育課題
への対応力

先端教科・領域学習コース

小学校英語 プログラミング教育 教科横断 学習支援

先端教科・領域学習コースは、『小学校英語』、『プログラミング教育』、『教科横断』、『学習支援』の4つの領域で構成されています。『小学校英語』では、小学校を中心に、中学校・高等学校において実践的な英語の指導を行うことのできる教員の養成を目指します。『プログラミング教育』では、各教科の授業力と児童生徒と関わる力を高めながら、プログラミング教育を通して、幅広い学校課題に対応することができる教員の養成を目指します。『教科横断』では、異なる教科間での連携・横断や小・中・高などの校種間の接続を考えながら、指導法の研究や教材の開発を行うことができる教員の養成を目指します。『学習支援』では、特別支援教育の目的や意義について理解し、個々の児童生徒の実態を踏まえた各教科等の指導や教職員等と連携した指導ができ、互いの特徴を認め合い支え合う学級づくりができる教員の養成を目指します。4つの領域を相互に関連させながら、総合的かつ網羅的に学ぶことができます。



子どもの
世界が広がる
学習の
あり方を学ぶ

現代教育課題コース

学習臨床・授業研究

『学習臨床・授業研究』では、子どもの学習場面に臨み、学ぶ過程を適切に把握することを通して、子どもが自己を確立し表現できるような教育活動を展開する授業を研究し、自らカリキュラムを創造し改善できる教員の養成を目指します。

学校の多くの時間は、“学習”へとあてられます。学習のあり方を追求することは、子どもたちの新たな世界の広がりや成長の可能性を見いだすことにつながります。

領域での科目や卒業研究では、実際に子どもと関わりをもって、多様な学習の実現のあり方を学びます。アクティブ・ラーニングやICTを活用した子どもの学びの質を高める学習デザインや総合学習、SDGs、国際理解、自然環境などに関する専門知と実践知を修得し、カリキュラム・マネジメントのできる資質・能力が身に付きます。全ての学習活動の基礎となる、主体的・対話的で深い学びに向かう、子どもの人間性を育む教育実践を展開できる教員への成長を支援します。



教育問題を
多角的に
みつめる

現代教育課題コース

道徳・生徒指導



『道徳・生徒指導』では、学校教育場面に関わるあらゆる問題について多角的に考察を深め、教育実践に活かす予防的・開発的な手立てを具体的に探求します。学校教育における、今日的課題である①規範意識の向上や道徳性の育成、②社会的・職業的自立とキャリア発達、③育てる生徒指導、④いじめ問題の予防と対応、⑤個別対応と望ましい集団形成などについて、(1)道徳教育、(2)キャリア教育、(3)生徒指導、(4)学校教育相談、(5)特別活動等の視点から探求します。

子どもの発達と
未来を見据えて
教育システムを
デザインする

現代教育課題コース

発達と教育連携

現代の教育が抱える複雑な課題の解決のためには、人間の成長・発達や教育という営みに関する根本的な知識・理解が必要です。加えて、科学的で実践的な課題探究の方法と態度の修得も重要です。これらについて『発達と教育連携』では、教育学や心理学の立場から、以下の3つの観点に立ち、連携・協働して問題解決にあたる力や教育実践力を身につけることを目指します。

(1) 認知的・社会的発達や学習プロセス、それを支える多様な人間関係など、子どもたちの心を多角的に探究し、発達と学習を適切に援助していくための理論と方法を学びます。

(2) 学級内における教師や子どもの人間関係、学校の雰囲気や風土、学校と家庭や地域との関係、社会環境と子どもの歴史的な変容などについて、科学的な研究手法を通して学びます。

(3) 教育を支える組織的な活動や仕組み、教育に関わる法規や制度について学びながら、協働して取り組める教職員の養成を目指します。

子どもたちの
育ちと学びの
原点を探る

幼年教育コース

幼年教育

『幼年教育』では、幼年期の子どもの発達と、それを支える幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育、家庭教育や子育て支援等について学びます。

心身ともに著しく発達し、生活の場が急速に拡大するのが幼年期です。この時期の子どものさまざまな発達の様相やそれにふさわしい環境のあり方、就学前施設のカリキュラムや適切な援助の方法について学ぶとともに、この時期に生じている諸問題を見定め、どのように解決していったらよいのかを共に探求し、実践に移していきます。

本コースは幼年教育学、幼年心理学、保育内容、児童福祉の研究領域で構成されています。理論と実践の両面から幼年期の子どもやこの時期の教育・保育の実践を総合的、共同的に学び合うことを通して、保護者や地域、諸学校と連携しながら実践の質を高め、子どもの望ましい発達を支えていく教育・保育の優れた担い手を養成します。

『こころ』の
問題を理解し、
解決への支援を
学ぶ

心理臨床コース 臨床心理



現在の学校現場では、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、虐待、発達障害など、子どもたちのこころに関するさまざまな状態に対応することが求められています。心理臨床コースでは、教科を教える力だけではなく、子どもたちのさまざまな生きづらさを理解し、解決できるように保護者への支援も含めて援助する心理療法の理論と技法について専門的に学ぶことができます。また、このような学校現場での教育相談や生徒指導に生かすことができる専門性を習得した教員になるだけでなく、公認心理師の国家資格に必要な学部での必須科目も受講できるようになっています。

日本語と、
ことばそのものの
理解を深める

教科内容構成コース 国語

私たちは日本語をもちいて、表現し理解し、伝達し合っています。国語はすべての学びの基礎であると同時に、それ自体が大切な文化であるといえます。『国語』では、次の専門領域にわたって学力を確実に身に付けるとともに、子どもたちのことばの学びが生き生きして、また深いものであるよう導く力を養います。

〔国語学〕では、共通語から方言、古典に至る様々な日本語を取り上げて、日本語の音声や語彙、文法、文体を分析し、ことばそのものへの理解を深めます。〔国文学〕では、古典文学や近代文学の講読や演習を通じて、作品世界を深く理解する方法や文学を学ぶことの意味や意義、体系について修得します。〔書写書道〕では、筆記具の持ち方から、筆順を覚える理由、整った字のための規則などを学び、子どもたちが楽しく字が書けることを目指します。〔国語科教育〕では、近年の教育課題に検討を加えながら、国語科の目標・内容・方法、教材研究・開発のあり方について学び、授業実践力を育成します。



さまざまな
『数学』を発展させ、
教育に生かす
方法を学ぶ

教科内容構成コース 数学

『数学』は、数学や数学的な考え方に興味をもち、それを発展させて、教育に生かしてみたいと思う人のためにあります。小学校の算数教育の中心的な存在になれるような教員の養成、中学校及び高等学校の数学科を担当できる教員を養成することを目的としています。『数学』には、代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学、コンピュータ、数学教育学の6つの領域があります。代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学の領域では、それぞれに対応する現代数学の初歩的内容とその基本的な考え方を講義します。コンピュータの領域では、初歩的なプログラミングの実習を行い、コンピュータの仕組みやその限界について体験的に学ぶ機会を提供します。数学教育学の領域では、教材分析や授業分析などを通して、その背景にある算数・数学教育の理論や指導法について講義します。これまで数多くの卒業生が、全国各地の小中高等学校の教員として活躍しています。

自然科学の
広い視野と
深い知識を
身につける

教科内容構成コース 理科



私たちは、自然科学について広い視野と深い知識を身につけ、将来学校で、子どもたちが意欲を持って楽しく学べる授業ができる先生、子どもたちを大切にはぐくむ先生を育てることを目指しています。大学2年で『理科』に所属すると、色々な授業や実験・観察が始まります。3年生になると、研究室に配属されます。「理科教育」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の5つの種類があります。3年生と4年生の2年間にわたってその研究室で卒業研究をします。この過程を通して、小中高等学校の理科の先生が身につける科学的リテラシーを学んでいきます。皆さんをお待ちしています。

英語「を」学び、
英語「で」教える
スキルを養う

教科内容構成コース 英語

小学校・中学校・高等学校における英語教育の実践力を養うために、英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、理論的・実践的な研究指導を行います。英語科教育では、英語科教育の理論と方法、実践的な英語コミュニケーションなどについて、多角的な視点から学びます。小学校英語教育では、外国語活動・外国語科について発達段階に対応した授業設計・実践・改善方法等について学びます。CLIL（内容言語統合型学習）等の最近の指導理論についても学びます。英語学では、英語の音声や文法について基本的事項を学習する授業や、英語または第二言語英語の個別のテーマについて掘り下げて検討を行う授業があります。異文化コミュニケーションでは、会話等のインタラクションについて学び、多文化共生を支援し、異文化間コミュニケーション能力の育成を目指しています。また、英語文学の授業では、英語文化圏における小説などを楽しむことができます。英語や異文化に興味を持ち、学習意欲の旺盛な人を歓迎します。

社会科授業に
必要な、様々な
研究・教育を学ぶ

教科内容構成コース 社会



社会科（地理歴史科・公民科）の授業に必要な、人文科学・社会科学・自然科学及び社会科教育（地理教育・歴史教育・公民教育）の諸領域について、それぞれの専門性を維持しつつ学際性にも十分留意した研究・教育を行います。とりわけ（1）社会認識の地理的多様性を認識しつつその歴史の変遷の軌跡をたどり、（2）社会構造の解明にとりくみ、（3）これら研究成果と教育実践の有機的な関連づけを目指します。2年次から地理学、歴史学、法学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、宗教学、社会科教育の授業を履修、3年次以降は各専門セミナーに所属、きめの細かい指導をうけ卒業論文を作成します。野外実習である地域調査法（地理学、歴史学）の開講、学内外での学校現場の社会科の先生らと連携した研究・教育活動が活発なことも特徴です。学生たちは小学校免許に加え中学校の社会、高等学校の地理歴史科・公民科の免許も取得し、卒業後、社会科という幅広い教科教育実践を得意とする学校教師として活躍しています。

音楽の実技・
理論の両面を
専門的に学ぶ

教科内容構成コース 音楽

『音楽』には、声楽、器楽、作曲、音楽学、音楽科教育についての授業があります。具体的には、ソルフェージュ、指揮法、合奏、合唱、作曲、声楽、音楽史、ピアノ・管楽器の基礎や表現法を学ぶ授業、日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽と文化について学ぶ授業、初等・中等音楽科指導法などの講義や演習が開講されています。様々な専門の教員による指導体制が充実しているので、音楽の実技・理論の両面にわたって、専門的に学ぶことができます。実践セミナーでは、大学院生と合同で、音楽教育にかかわる幅広いテーマを実践的に学んでいます。合唱のような、学年を超えての合同の授業、箏、三味線、尺八、篠笛、太鼓など各種和楽器や、バリ・ガムランのセットを使っている授業があります。3・4年次の専門セミナーの授業では、学生の希望するテーマに即して研究の場が提供され、これらは卒業演奏会や卒業論文へと発展します。音楽劇創作演習では、4年生による自作自演の音楽劇を上演しています。

様々な
表現方法を学び、
子どもたちの
学習に生かす

教科内容構成コース 美術



『美術』では、人間と美術と教育のかかわりについて学ぶことができます。充実した施設・設備ときめ細やかな指導により、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論の各専門領域と美術科教育を通して、様々な造形的表現方法を学生自身が学び、あわせて子どもたちのための教材開発、指導などの学習や研究をしていきます。大学での授業やゼミでの研究はもちろん、美術館での作品鑑賞、作家や工房を訪れる研修、子どもたちとのワークショップなど、学外や地域と連携した活動や海外大学との国際交流も行っています。

運動を通し、
子どもたちの
健康と成長を促す

教科内容構成コース

保健体育

『保健体育』は、将来、小学校における体育指導の中心的存在として、あるいは、中学校または高等学校の保健・体育教科を担当できる専門的資質をもった教員の育成を目指しています。

児童・生徒の活発な屋内外の遊びや運動は、運動能力、体力、体格の発達を促し、健康の保持増進に資するとともに、人間的な成長にとって極めて大切な情緒の安定、自己統制力、他者を理解し思いやる心などを育むことと深い関わりがあります。児童・生徒の人間的な成長や発達、人々の健康の保持増進を願う指導者にとって重要となる課題は、健康や運動についての正しい理解と適切な方法を修得し、実際の指導に結びつけていくことです。

『保健体育』では、「体操・器械運動」「水泳」「武道」「運動学」「体育心理学」「解剖生理学」「学校保健」「中等保健体育科指導法」「専門セミナー」などの専門科目の学修や研究を通して、学術的な運動の原理、健康の意味、体育の指導について理解を深めることができます。

技術を生かす
力を持った
生徒を育てられる
教員に

教科内容構成コース

技術



『技術』では、生活に役立つ製品の設計・製作、コンピュータやネットワークの基本的構成、プログラミング技術を身につけ、それらを生活や社会に生かせる能力を持った生徒を育てる教員の養成を目指します。この目標のため、『技術』では、技術科教育学、木材加工学、金属加工学、電子・電気工学、機械工学、コンピュータ科学、栽培学（生物育成の技術）の学問領域に関して授業科目を用意しています。さらに、3年次から専門セミナーを受講し、専門的な知識を身に付け、卒業研究に取り組むことで実践力を養います。

人の生活に
関わる様々な
事柄を学ぶ

教科内容構成コース

家庭

『家庭』では、生活について自然・社会・人文科学の立場から総合的に学び、社会環境の変化に伴う複合的な生活問題に対応・解決できる専門的資質・能力をもった持続可能な社会の創り手を育成することを目指しています。

具体的には、家族関係学、生活経営学、保育学、被服学、食物学、家庭科教育学などを学び、専門セミナーでは授業で学んだことを総合化する力をみがくとともに専門的な知識・技能を深め、卒業研究につながるよう各々の課題に取り組みます。

「主体的・対話的で深い学び」が求められる今の教育現場では、その典型ともいえる家庭科の授業を魅力的・学術的に展開できる教員が強く望まれています。また、『家庭』で身につけた確かな学力は、家庭科の授業のみならず、教科横断的授業を進める際にもいかに発揮されることでしょう。『家庭』は、人の生活にかかわる様々なことがらや問題に興味と関心をもち、「学びたい」という意欲のある学生にとっては最適な教育・研究の場です。

卒業後の教員就職率

80.0%

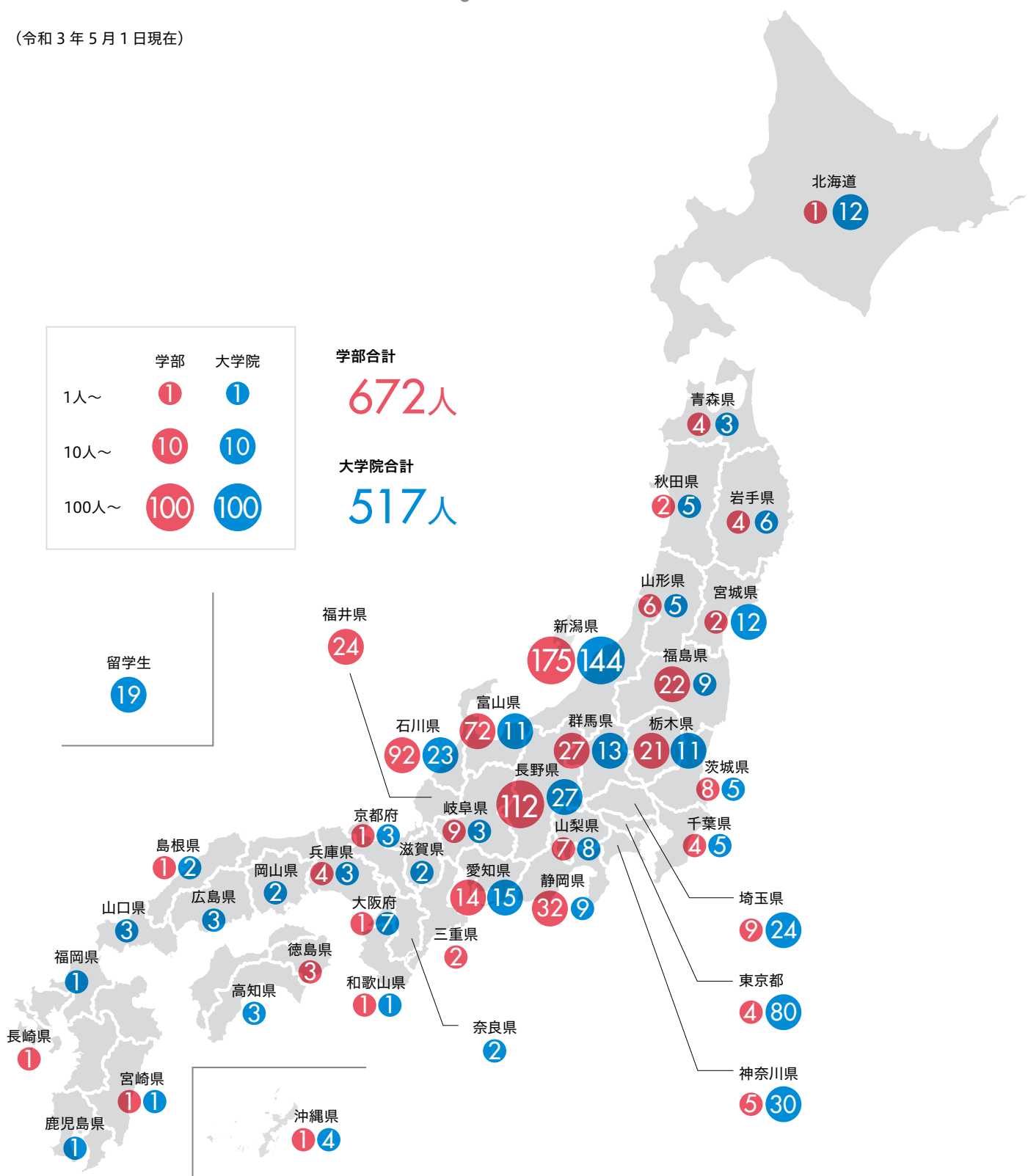
国立の教員養成大学・学部
(44大学・学部)の中で

全国 第4位

他、公務員・企業等・・・大学院への
進学も! 詳しくは、p.23を参照 →

出身都道府県別 在学者数

(令和3年5月1日現在)



カリキュラム(特色のある教育課程)

1 人間教育学関連科目

人間教育学セミナー，
実践的人間理解科目，
基礎的人間形成科目

教員の原点である人間理解
を体験的に深めると同時に，
その理解を自然・社会・異文化・
生活の各領域の視点から
捉えていきます。

2 相互コミュニケーション科目

情報，表現

子どもの学習活動を，言語・
芸術・情報などのメディアを通
じた表現やコミュニケーション
から理解し，その具体的な支
援の方法を学びます。

3 ブリッジ科目

専門領域に関する高等学校
教育との橋渡し，並びに専門
教育への橋渡しをします。

4 教育実践科目

各教科の指導法，
ガイダンス，
教育実習

実践的指導力を向上させるた
め，教職関連の実習関係科目
を重視し，各教科に関する指
導法，生徒指導の方法を学び
ます。

5 教職実践演習科目

教員として必要な知識技能
を修得したことを確認します。

6 専門科目

専門科目，専門セミナー，
実践セミナー

現代社会の複雑な諸課題に
立ち向かうための総合的な問
題解決能力，及び教育場面
における応用力を養います。

7 卒業研究

コース・領域の専門科目に
関する修業を集約発展させ
て，その成果をまとめます。

卒業要件と取得できる免許状・資格

卒業要件の134単位を修得することによって，全学生が学士（教育学）の学位を受けるほか，小学校教諭一種免許状を取得できます。（幼年教育コースに所属する学生の場合には，幼稚園教諭一種免許状も合わせて取得できます。）その上に所要の単位を修得することによって，幼稚園教諭の一種又は二種の免許状，もしくは特定教科の中学校教諭の一種又は二種の免許状，さらに高等学校教諭の一種免許状を選択して取得することができます。（ただし，授業時間割の制約上，希望する免許状が取得できないこともあります。）

● 卒業要件に含まれる免許状

小学校教諭一種免許状

幼稚園教諭一種免許状（幼年教育コース）

● 履修の仕方によって取得可能な免許状

幼稚園教諭一種免許状

中学校教諭一種免許状（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，英語）

高等学校教諭一種免許状（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，保健体育，保健，家庭，情報，英語）

● 履修の仕方によって取得可能な資格

「保育士」

養成定員20人の指定保育士養成施設として認可されており，保育実習を含む定められた科目を73単位以上修得することで，保育士となる資格が得られます。

保育士資格を取得できる学生は，幼児教育を学ぶ意志があり，かつ，幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する学生で，1学年20人までです。申請者が20人を超えた場合は，別途筆記試験を行い選考します。なお，保育実習に係る交通費は学生の自己負担となります。

「学校図書館司書教諭」

文部科学省令で定められた資格取得に必要な5科目10単位を開講しています。

「公認心理師」

本学では，公認心理師試験の受験資格取得のため，大学において必要な科目（52単位）を履修することができます。ただし，一部の科目には履修条件があります。

なお，公認心理師試験の受験には，本学卒業後に，さらに本学大学院などの公認心理師となるために必要な科目が履修できる大学院において科目を履修する必要があります。

● 卒業・免許状要件単位数

区 分		学校教育専修									
		右記以外のコース						幼年教育コース			
		卒業 小1	幼2	幼1	中2	中1	高1	卒業 小1 幼1	中2	中1	高1
人間教育学関連科目	人間教育学セミナー	2						2			
	実践的人間理解科目	16						16			
	基礎的人間形成科目	22	+6	+12				34			
相互コミュニケーション科目		7						7			
ブリッジ科目		20			+18	+28	+24	20	+18	+28	+24
専門科目		30						16			
教育実践科目		31	+2	+2	+5	+5	+5	33	+5	+5	+5
教職実践演習科目		2						2			
卒業研究		4						4			
合 計		134	142	148	157	167	163	134	157	167	163

（注）中2・中1・高1は，最大値（ブリッジ科目及び専門科目の取得の仕方によって若干減少する。）

副専攻プログラム

（1）小学校英語副専攻プログラム

グローバル化の進展を遂げる社会に生きる子どもたちの学習を支えることができる教員の育成を図るため，小学校における外国語活動（中学年）と外国語科（高学年）を担当する上で必要となる基本的知識と技能の修得を目指します。

（2）小学校プログラミング・テクノロジー副専攻プログラム

人工知能（AI）がさらなる飛躍的な進化を遂げる社会に生きる子どもたちの学習を支えることができる教員の育成を図るため，小学校などで活用されるプログラミング領域，情報及び技術などプログラミング言語に関する高度な知識と技能を実践を通して修得することを目指します。

少人数教育のシステムとクラス制度

学生と教員及び学生相互間の人間的交流を深めること，学生生活の充実を図ることなどを目的として，1年次では学籍番号に基づいたクラス（1クラス10人程度）を，2年次以降では，コース・領域別にクラスを編成しています。

また，各クラスにはクラス担当教員を置き，学生の修学やその他学生生活全般について適切な指導助言を行っています。少人数による教育を通して，学生と教員とのコミュニケーションが図られています。

6年一貫教育プログラム

6年一貫教育プログラムを置き，大学院専門職学位課程（教職大学院）に進学を志望する学業優秀な学部学生に対して，本学大学院教育課程の授業科目を履修する機会を提供し，大学院教育との連携を図っています。

なお，今後の教育組織の変更等により進学先である大学院の専攻・コースなどが変更される場合があります。



教育実習の重視

教育実習を1年次から4年次まで体系的に実施しています。

1年次の教育実地研究Ⅰ（観察・参加）では、学校種による子どもの発達や教育活動全般の特性を理解します。2年次の教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）では、初等教育実習に向く前の最終的な確認などを行います。3年次の教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）では、教科指導や学級経営、特別活動などの実習を通じて、実践的指導力の基礎を培います。4年次では、教育実地研究Ⅳ（中等教育実習）や総合インターンシップなどの実習を選択することができます。

教育実習は附属学校園（上越市）のほか、上越市、妙高市、糸魚川市、柏崎市等の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校（計130校園（令和3年4月現在））から連携協力を受けており、学生は大学の指定する学校園で教育実習を行うことになります。

大学所在地から、実習校園までの距離は、指定された学校園毎に様々です。遠方の学校園までは、上越市内で30km、妙高市内で35km、糸魚川市内及び柏崎市内で45kmの距離があり、公共交通機関などを利用していただくことになります。教育実習に係る交通費等及び教育実習のための教科書（教育実習ハンドブック）の購入は学生の自己負担となります。



2年次の教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）の様子



3年次の教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）の様子

教育実習（教育実地研究）の流れ

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
科目名	教育実地研究Ⅰ （観察・参加）	教育実地研究Ⅱ （授業基礎研究）	教育実地研究Ⅲ （初等教育実習）	教育実地研究Ⅳ （中等教育実習）
内容	幼稚園・小学校・ 中学校等を訪問、 教育活動を観察	模擬授業、 発問・板書のしかた 等	小学校教育実習 （5月1週間、9月3週間）	中学校教育実習（選択）
実習校等	●大学 事前・事後指導 ●附属幼稚園、協力校園	●大学	●大学 事前・事後指導 ●附属小学校、協力校	●大学 事前・事後指導 ●附属中学校、協力校

分離方式教育実習

5月に観察実習を1週間
行い、4カ月の研究期間
において、9月から3週間
の本実習を行います。

5月

1週間
観察実習

研究期間

- ・児童理解を深める。
- ・教材研究をする。
- ・指導案を作成する。
- ・実習校指導員の指導を受ける。など

9月

3週間
本実習

ボランティア活動の授業化

近年、教育職員免許状を取得する上で、ボランティアへの取組が重視されてきています。本学では、こうした動きに先駆けて、学生の社会教育施設における「ボランティア体験」（1年次）をいち早く授業化しました。

さらに、必修科目として「学校ボランティアA（学校支援体験）」（2年次）を開設し、3年次で行われる「初等教育実習」前に、学校現場でのボランティア活動に取り組むようカリキュラムを編成しています。

また、「初等教育実習」後、さらに学校現場での学びを深めるために実習校等でボランティアを行う「学校ボランティアB（学校支援体験）」（3年次）や「総合インターンシップ」（4年次）で長期にわたって学校現場に入ること、様々な学級に関わり、学年に応じた指導や取組を学んだり、教職員の子どもへの関わり方を学んだりすることができるようになっています。

こうした教育施設や学校現場へのボランティアを通して、子どもや教職員、教育に携わる地域の方などから学びを深め、教員として求められる社会性やコミュニケーション能力を高めていきます。

学校実習・ボランティア支援室

教育実習、学校実習（大学院）及び学生の各種ボランティア活動を円滑に実施するための支援・危機管理等を行うことを目的として、従来の学校ボランティア支援室を改組・拡充し、平成31年度に設置しました。小中学校をはじめ、たくさんの機関や施設の方とつながりを持ち、活動を支援しています。

主な役割

- 教育実習・学校実習の支援
- 授業科目として位置づけられた講座を履修する学生の支援
- 授業科目以外の教育的なボランティアに関する相談とコーディネート
- 社会教育分野におけるボランティア活動の推進
- 被災地ボランティア活動への支援
- その他のボランティア情報の掲示
- 参考図書や教科書などの貸出



上越教育大学のボランティア

【選択授業科目】1年 ボランティア体験

さまざまな教育機関でボランティアを体験しながら、計画・運営がどのようになされているのか、子どもとの関わりはどのようにしていけばよいのかなどを学びます。
<受入機関>
謙信KIDSプロジェクト、わくわくランドあり、青少年自然の家など



【必修授業科目】2年 学校ボランティアA

大学近隣の小中学校5校で、年間15時間以上のボランティアを体験します。子どもとのコミュニケーション能力を向上させるとともに学校現場の実践やインクルーシブな教育の理解を深めていきます。
<受入校>
上越市内の小・中学校 5校



【選択授業科目】3年 学校ボランティアB

初等教育実習後、さらに学びを深めるために15時間以上のボランティアを実習校等で行います。現場の先生方の補助的な業務を行い、教員という仕事の実感をより深く学びます。
<受入校>
教育実習が行われている上越市、妙高市、糸魚川市の小学校



【選択授業科目】4年 総合インターンシップ

教育実習を終えた4年生が、さらに学校と関わりを深めるために、長期にわたって実習を行います。学生は、様々な業務に携わることで、将来の学級担任としての実践的な指導力を学びます。
<受入校>
教育実習が行われている上越市、妙高市、糸魚川市の学校



学部生、院生 教育ボランティア

大学での授業科目以外に、学生が意欲をもって行う教育的なボランティア

小中学校、特別支援学校をはじめ、教育機関からさまざまなボランティアの要請が来ます。また教育実習後に実習校から手伝いをお願いされることも多いです。自分がやりたいボランティアを見つけ、自分の力を高めていきます。
<活動例>
授業や放課後学習の学習支援、個別学習支援、行事の補助、作業や事務などの先生の仕事の補助、校内の除菌作業



「海外教育研究」の実施

外国での短期間の生活を通じて、その国の教育の実態及びその背景をなす文化に直接触れさせ、自国とは異なる教育の制度・内容の理解の深化を図り、教育者として必要とされる広い視野や高い識見及び豊かな人間性の育成を目的として、授業科目「海外教育研究」を開設しています。

オーストラリア、アメリカ、韓国、台湾の協定大学などの協力を得て、現地の小学校及び中学校などの授業参観及び授業実践を行うほか、現地学生などとの交流を行っています。

海外交流協定校

海外の8つの国・地域の11大学等と交流協定を締結し、授業科目「海外教育研究」、国際学生プログラム、留学などによる学生交流や、共同研究などによる研究者交流を行っています。

留学生交流・地域支援

中国を始めとしたアジアの国々や欧州、アフリカ等から多くの留学生を受け入れており、留学生と日本人学生が交流できるような様々な行事を実施しています。

また、「外国につながる子どもたち」への修学支援事業として、外国にルーツのある児童生徒に対し、学習の支援を行っています。



海外教育研究 B (アメリカ)



留学生が語る／留学生と語る会



在学中の保険と相談窓口

学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）

この保険は、学生が大学の正課中、学校行事中、課外活動中又は大学施設内において生じた事故及び通学中又は学校施設など相互間の移動中に生じた事故により、身体に傷害を被った場合に保険金が支給される互助共済制度であり、本学では入学と同時に全員が加入（4年間）します。

学生教育研究賠償責任保険（略称「学研賠」）

この保険は、大学における正課、学校行事、大学が教育活動の一環として位置づけるインターンシップ・介護体験活動・ボランティア活動を行う際に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度であり、本学では入学と同時に全員が加入（4年間）します。

学生相談

教員が学生からの相談を受け付ける時間を定めたり、クラス制度を設けて各クラスに担当教員を配置するなど学生相談の充実に努めています。

また、学生からのさまざまな相談に応じたり、仲介したりする「なんでも相談窓口」も学生支援課にあります。

その他

- (1) 学生証は、I・Dカードとして、附属図書館の入館・貸出や証明書・学割証の発行などに使用したり、大会館内の食堂・売店などの利用料金を各自の口座から自動振替により支払うことに使用できます。
- (2) 受動喫煙を防止し、学生及び教職員などの健康を守るため、また、公立学校などにおける敷地内全面禁煙の実施状況を踏まえ、将来教育現場に就職することとなる学生に対し、在学中に喫煙習慣を持たせないための環境を整備するため、キャンパス内全面禁煙としています。



納付金と奨学金

納付金

大学に納める経費は、次のとおりです。

入学科 282,000 円（入学手続時に納めてください。）

授業料 535,800 円（年額）

前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

代行納付（口座振替）による納付となります。なお、入学科及び授業料の金額は、令和3年度入学者の金額であり、今後改定される場合があります。また、在学中に授業料改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。

高等教育の修学支援新制度

修学支援新制度では、学部学生のうち、学ぶ意欲のある学生であり、かつ住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の者は、授業料等の減免及び給付型奨学金の給付をセットで受けることができます。

入学科の免除など

入学前1年以内の学資負担者死亡、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害などの災害を受けたことなどのため入学科の納付が著しく困難であると認められる場合に、願い出により、選考の上、入学科の全額又は半額を免除する制度があります。

上記の事由のほか、経済的理由により納付期限までに入学科の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合に、願い出により、選考の上、入学科を徴収猶予する制度があります。

授業料の免除など

入学前1年以内に学資負担者の死亡などのため授業料の納付が著しく困難であると認められる場合に、願い出により、選考の上、全額又は半額の免除及び徴収猶予する制度があります。

奨学金（上越教育大学くびきの奨学金）

本学創立30周年記念事業において寄せられた寄附金、上越地域住民が会員となっている「上越教育大学振興協力会」からの寄附金及び上越教育大学の同窓会からの寄附金を主な財源に平成21年度から創設された本学独自の奨学金（返済不要）であり、対象者は、原則、授業料免除申請者等です。

なお、半期ごとに学内選考を行い、以下の給付額が支給されます。

学部学生、大学院学生 前期・後期各 80,000 円

貸与奨学金（日本学生支援機構）

人物・学業成績ともに優秀で、経済的理由のため著しく修学困難な者については、所定の手続きを経て奨学金が貸与される制度を利用することができます。

区分	奨学金の種類／貸与月額	
	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子）
自宅通学	20,000 円, 30,000 円, 45,000 円	20,000 円～ 120,000 円 のうち 10,000 円単位
自宅外通学	20,000 円, 30,000 円, 40,000 円, 51,000 円	

大学院（専門職学位課程・修士課程及び博士課程）との関連

上越教育大学には、学部のほかに「大学院学校教育研究科（専門職学位課程及び修士課程）」が設置されています。また本学は、兵庫教育大学を基幹大学とした「大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」の構成大学となっています。したがって、学部卒業後さらに高度な専門教育を受けたい学生は、入学試験を経て、大学院専門職学位課程又は修士課程へ、さらには博士課程へと進学することができます。

大学院学校教育研究科

目的

主として、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力と実践的指導力を備えた有為の教育者を養成することを目的としています。

大学院学生の中には、都道府県教育委員会から研修のために派遣された教員や、大学院修学休業制度・自己啓発等休業制度を利用した教員など多くの現職教員が修学しています。

また、教育職員免許状を新たに取得できるプログラムを設けており、社会人や教員養成系以外の学部出身者も多く修学しています。

組織図

課 程	専 攻	コース	入学定員
専門職学位課程 （教職大学院課程）	教育実践高度化専攻	学校教育実践研究コース 教科教育・教科複合実践研究コース 発達支援教育実践研究コース	190 人
修士課程	教育支援高度化専攻	心理臨床研究コース	20 人
合 計			210 人

※令和4年4月、大学院の改組を計画しています。
設置認可審査等により今後変更となる場合があります。

本学の大学院専門職学位課程及び修士課程は、「教員に開かれた大学院」として現職教員を多数受け入れており、学部学生とも様々な機会を通じて交流があります。こうした交流の中で、より実践的な視点から教育に関する情報交換ができることも、本学の大きな特徴です。

教育課程

専門職学位課程の教育課程は、教職に求められる高度に専門的な力量の基礎となる学識と教養及び技能を体系的に身に付けるための「共通科目」、深い学識と教養をもとにして学校現場における実践を意味づけ、的確に判断する力量を身に付けるための「コース別選択科目」、教育現場の状況を的確に把握し、他の人々と協働しながら適切に対応する力量を、学校現場における実践を通して身に付けるための「実習科目」から編成されています。

修士課程の教育課程は、現代の教育と子どもの発達を俯瞰し、教育における多様なニーズに対応する際に必要な専門的力量の基礎となる学識と教養を身に付けるとともに教育における心理的援助ニーズに対応する際に必要となる心理臨床に関する高度な専門性を身に付けるための専門科目及び各自の研究テーマを具体化する専門セミナーで構成する「専攻科目」から編成されています。

修了要件

専門職学位課程の修了要件は、大学院に2年以上（1年制プログラムの場合は1年）在学し、46単位以上を修得し、かつ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める専修免許状又は一種免許状取得に係る所要の単位を修得することです。（ただし、在留資格が「留学」となっている外国人学生は免許状取得に係る単位の修得は不要です。）

修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、さらに必要な研究指導を受けた上で、学位（修士）論文の審査及び試験に合格することです。

学位及び教員免許状

専門職学位課程の修了者には、教職修士（専門職）の学位が、修士課程の修了者には、修士（教育学）の学位が授与されます。教員の一種免許状を有している学生は、所定の単位を修得することで、専修免許状が取得できます。

就職・進路

文部科学省が調査した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の令和2年3月卒業者の就職状況等」において、本学の**教員就職率80.0%**（卒業生数から大学院進学者と保育士就職者を除く）は、全国の44大学・学部の中で、**第4位**でした。

プレイスメントプラザ

プレイスメントプラザ（Pプラ）は、就職・進路に関する相談や就職に関する各種資料を自由に閲覧でき、自学自習、学生同士の情報交換の場としても利用されています。教員採用関係では、全国の公立学校教員採用試験に対応できるよう国内すべての自治体の実施要項及び過去の試験問題集、先輩の受験レポートなどを揃えています。また、公務員・保育士関係では、求人票のほか、参考書、過去問題集などの各種資料を揃えています。

教員採用試験学習支援システムは、インターネット上で利用することができ、教員採用試験関連資料、幼稚園教諭・保育士の求人関連資料の提供、教員採用試験対策講座の動画配信などのサービスを提供しています。



キャリアコーディネーター

Pプラには、就職・進路相談や就職指導を担当するキャリアコーディネーター（公立学校の校長職経験者）がいます。経験豊かな学校教員の立場から、論作文・自己PR文の添削指導や模擬面接（個人・集団面接、集団討論など）の指導など、学生一人ひとりに合わせた個別指導により就職試験対策をサポートします。



就職支援 教員採用試験対策講座等

教員採用試験対策講座

民間のノウハウを活用し、教員採用試験に臨むための心構え、学習方法から、教職教養、一般教養などの筆記試験対策まで、段階に応じた対策講座を開講しています。

直前実技指導

教員採用試験で課されている実技検査対策として、体育分野の各種目、音楽実技、理科実験等について教員採用試験の直前指導を行っています。

模擬面接指導

面接試験は受験者の言動及び態度を通じて、直接的に知識、性格特性、適格性、価値観、人生観などを総合的に評価するものです。キャリアコーディネーターの指導を繰り返し受けることにより、試験を突破する実力が身につきます。

就職試験激励会

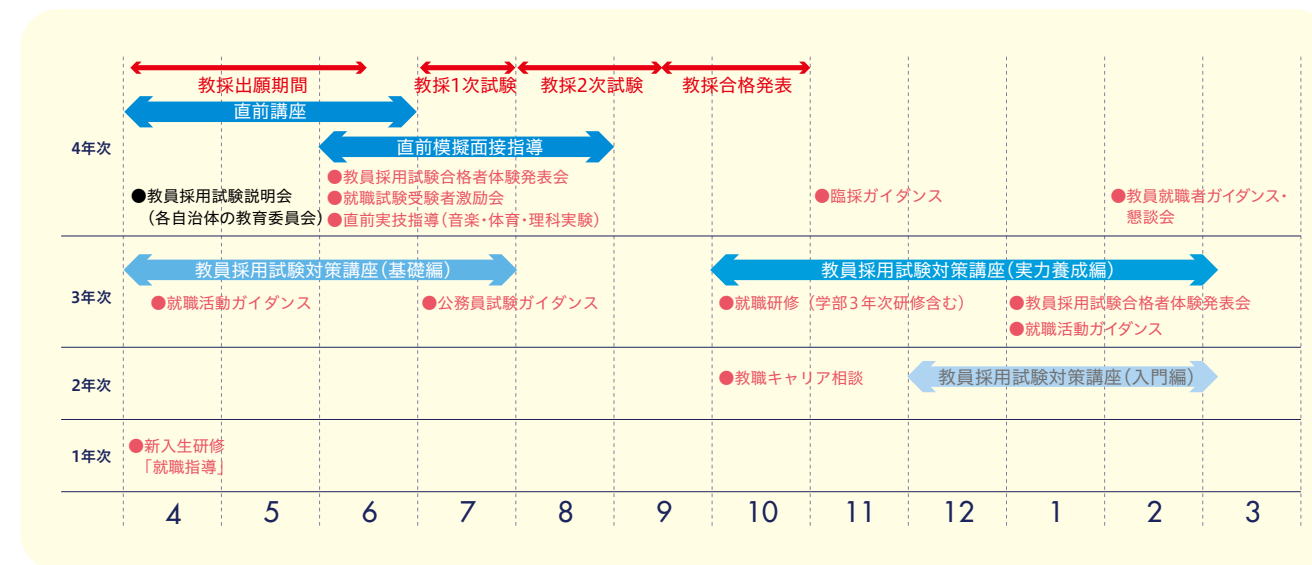
就職試験を受験する学生に対して受験の健闘を願い、受験に向けた準備をねがう大学主催の激励会を毎年実施しています。

教員採用試験対策スケジュール

教員志望の学生向けに、2年次から4年次の教員採用試験直前まで続く「教員採用試験対策講座プログラム」を開講しています。

教員採用試験問題に詳しい専門の講師の指導により、試験対策の必須事項や学習法を学び、教採試験合格を目指します。

また、4年次の5～6月には、大学教員による直前実技指導やキャリアコーディネーターによる直前模擬面接指導など個々の学生の志望に応じた支援を行っています。



就職状況

令和2年3月卒業生の就職状況

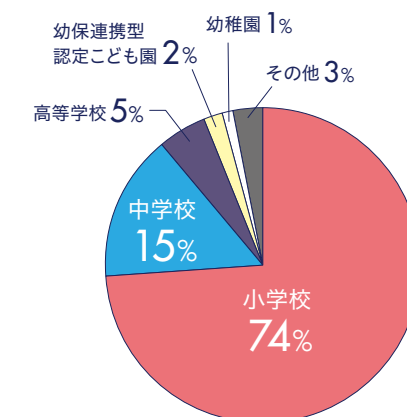
令和2年9月30日現在（単位：人）

区分	教員就職者								保育士	官公庁 企業等	進学者	合計	教員就職率 (※)
	小学校	中学校	高等学校	特別支援 学校	幼稚園	幼保連携型 認定こども園	その他	計					
初等教育教員 養成課程	80 (18)	16 (9)	6 (3)	—	1	2	3 (1)	108 (31)	7	27	21	163 (31)	80.0%

「教員就職者」の（）内の数は、期限付き教員として採用された人数で内数です。「官公庁 企業等」欄には臨時採用者を含みます。

※ 教員就職率は、卒業生数から進学者と保育士就職者を除いた数を母数とした教員就職者の割合を示します。

【教員就職者の内訳】



【都道府県別教員就職状況】

（単位：人）

校種	新潟	長野	石川	群馬	富山	静岡	千葉	愛知	福島	茨城	栃木	山形	福井	山梨	滋賀	合計
小学校	37	14	10	3	4	2	2	3	2	2	1					80
中学校	1	3	5	4	1	1									1	16
高等学校	2					1					1	1	1			6
幼稚園等	3	1				1								1		6
合計	43	18	15	7	5	4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	108

理想の先生をめざして！

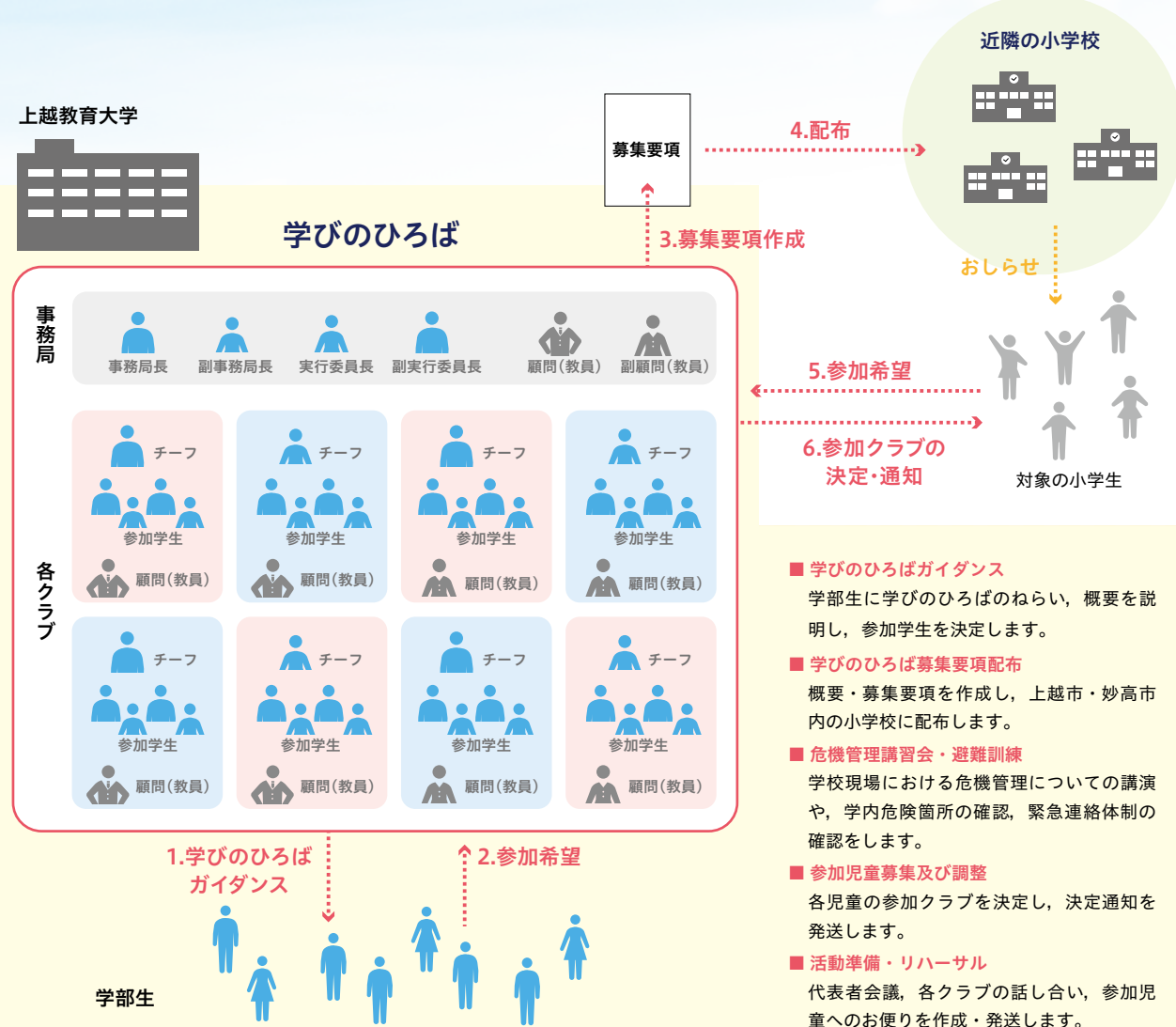
学びのひろば

学びのひろばとは

「学びのひろば」は、平成10年度に上越教育大学フレンドシップ事業の一環として始まりました。

現在は、近隣の小学校に通う子どもたちを年に5～6回大学や国立妙高青少年自然の家へ招き、レクリエーションや野外活動、工作、運動などの活動を行っています。その中で子どもたちが仲間とともに学ぶことの楽しさを感じ、新しい発見と挑戦の場として主体的に取り組んでいくことを目標としています。

その企画・運営は、大学の教職員の支援を受け、全て学生が中心となり行っています。計画していく過程では学生同士が子どもたちとの関わり方や環境づくりについてよく話し合い、活動当日は直接子どもとふれあうなかで実践力を高めています。



参加している先輩たち

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の子どもたちを大学に招いて一緒に活動することはできませんでした。それでも、実際に子どもたちと活動することを想定して企画し、学生たちだけで活動を行いました。早く感染拡大が収束し、元気いっぱいな子どもたちと一緒に遊べる日を心待ちにしています！

野外活動や音楽活動などさまざまな分野があり、学生が主体となって、近隣小学校の子どもたちと取り組むクラブ活動です。僕ら学生は学年混合で先輩後輩と一緒にひとつのクラブを運営するので、授業や部活とはまた違う人間関係を持つことができ、これも上越教育大学のおもしろい点だなと感じています。



2年 教科内容構成コース(英語)
田中 はなさん



2年 学校教育実践コース
高松 宗生さん



グループごとに作ったお城づくりの様子



緑の小道での宝探しの様子

Campus Life

キャンパスカレンダー

前期

4月 ～ 6月	入学式／新入生オリエンテーション／前期授業開始／ 新入生研修(1年次)／履修登録期限／4年次中等教育実習／ 3年次初等教育実習(観察実習)／1年次観察・参加実習／就職試験受験者激励会
4月1日 ～ 9月30日	前期期末試験／オープンキャンパス／保育実習Ⅱ／集中講義／夏期休業／保育実習Ⅲ・Ⅳ／ 3年次初等教育実習(本実習)／1年次観察・参加実習／1年次介護等の体験



後期

10月 ～ 12月	創立記念日／後期授業開始／3年次研修／ 大学祭, ミニ・オープンキャンパス／冬期休業
10月1日 ～ 3月31日	卒業論文提出期限／後期期末試験／集中講義／保育実習Ⅰ／ 課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修／春期休業／ 学位記授与式



上教大生の1日

初めての一人暮らし! 最初は苦労しましたが、今は空きコマを利用して効率よく家事ができるようになりました。



講義に課題、部活を2つ、そしてアルバイトと忙しいですが、とても充実した毎日を送っています!



課外活動

学生の人間形成の場として正課外の課外活動を重視しており、課外活動に対する支援・充実を積極的に図っています。課外活動団体として認定を受けた学生団体には、活発な活動が行えるよう、設備、備品などの利用について便宜が与えられ、本学の名称を冠して対外試合などにも参加することができます。

学部学生の約9割が課外活動団体に所属し、うち約5割の学生は複数の団体に所属しています。

課外活動に参加することにより様々な経験をし、様々な人たちと出会い、その中でかけがえのない仲間や、将来を考えるきっかけに出会えるなど、より充実した学生生活を送っています。

体育系

- ソフトテニス部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 準硬式野球部
- 卓球部
- 剣道部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- サッカー部
- 弓道部
- スキー部
- バドミントン部
- ソフトボール部
- 硬式テニス部
- ハンドボール部
- 女子サッカー部
- ラグビー部
- アイスホッケー部
- 女子アイスホッケー部
- ストリートダンス部
- セパタクロ部
- 男子ソフトボール部
- 体操部
- フラガール
- フットサル部

文化系

- 書道部
- 坐禅・不識会
- 上越アクティビティクリエイターズ(JAC)
- 茶道部
- すぺしやるさんくす
- 手話研究会しゅわーる
- 多文化交流サークル(まるかる)
- 被災地ボランティア団体(ABJ)
- 子ども食堂スタッフサークル
- ボードゲームサークルLogica
- レクリエーションサークル
- 上越の朝

芸術系

- モダン・ミュージック・ソサイエティ(MMS)
- 吹奏楽団
- 管弦楽団
- 混声合唱団
- アートワーク
- アカペラサークル(JADE)
- ヨリ・ミチ図工室

計45団体

令和3年5月1日現在



アイスホッケー部



吹奏楽団



フラガール



ストリートダンス部

Campus Map

- ①本部事務局
- ②講堂

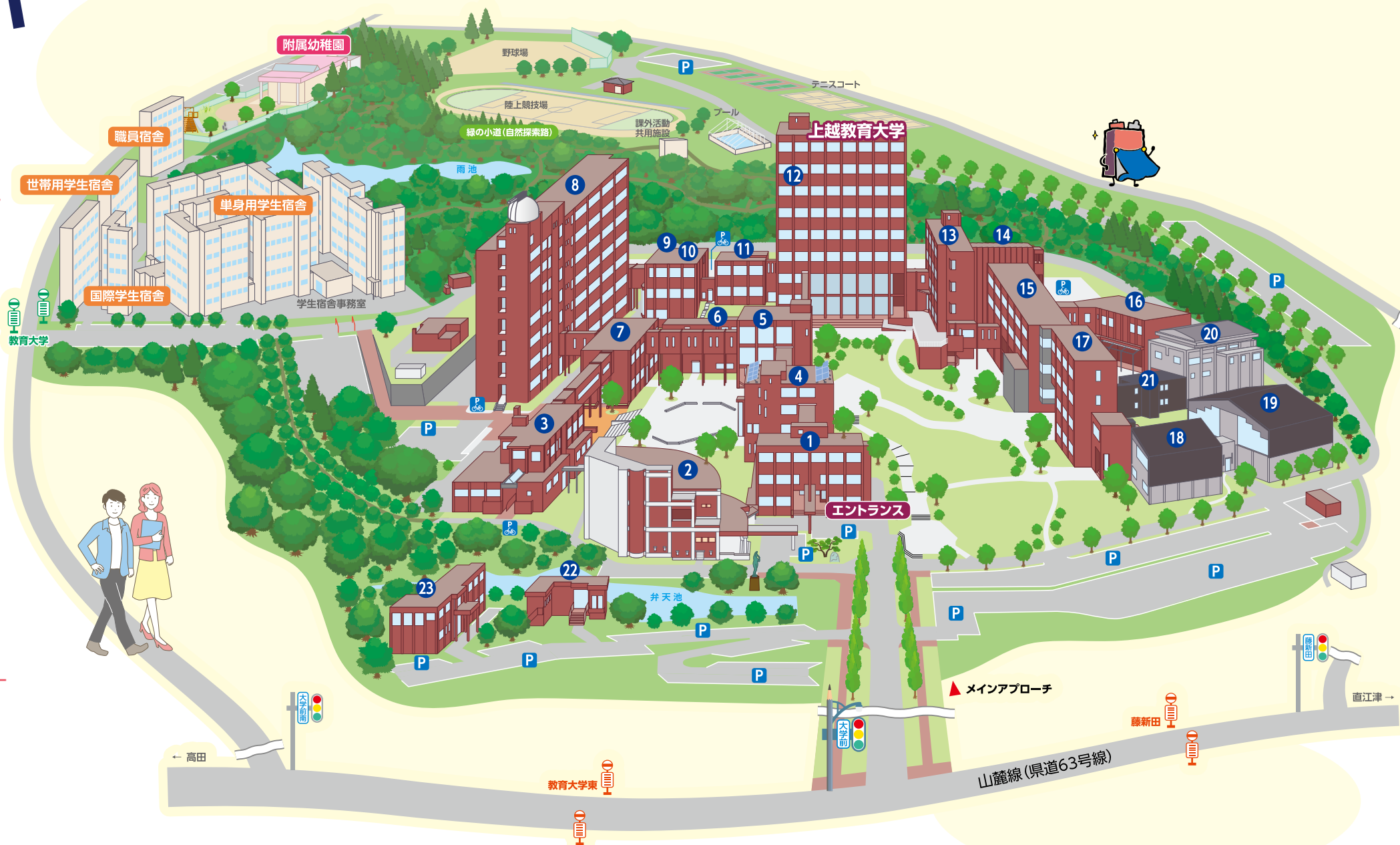


- ③大学会館
 - 1F 第一食堂／売店／保健管理センター／銀行ATM(第四北越銀行, ゆうちょ銀行)
 - 2F 第二食堂／喫茶室／美容室／理容室／POTATO(ポテト)／集会室

- ④附属図書館
 - 1F 閲覧室／ホール
 - 2F 入口・受付カウンター／閲覧室／学術情報課
 - 3F 閲覧室

- ⑤講義棟
 - キャンパスライフ スクエア／教育支援課／学校実習課／学生支援課／プレイスメントプラザ

- ⑥教職大学院棟
- ⑦実験棟
- ⑧自然棟
- ⑨情報メディア教育支援センター
- ⑩第二講義棟
- ⑪人文棟(低層)
 - 教育実習支援室／学校実習・ボランティア支援室
- ⑫人文棟
 - 留学生交流プラザ
- ⑬音楽(研究)棟
- ⑭音楽(個人練習室)棟
- ⑮美術(研究)棟
- ⑯美術(実習)棟
- ⑰体育棟
- ⑱小体育館
 - 柔・剣道場／ダンス室／トレーニング室
- ⑲体育館
- ⑳スポーツ科学実験棟
- ㉑臨床研究棟
- ㉒心理教育相談センター
- ㉓特別支援教育実践研究センター



学生サポート施設

保健管理センター ③

保健管理センターは、学生及び職員の心身の健康の保持・増進を図ることを目的として設置されています。このセンターでは、毎年健康診断などを実施するほか、専門の職員が学生及び職員の心身の健康状況を把握し、必要に応じて指導と助言を行っています。また、カウンセラーによる精神保健相談を行っています。



心理教育相談センター ㉒

心理教育相談センターは、上越近隣地域における子どもから大人の様々なこころの問題を抱えた方々への専門的な心理的援助を行っています。また、公認心理師及び臨床心理士養成のための実習施設として、心理臨床コースの大学院生の研修を行っています。



特別支援教育実践研究センター ㉓

特別支援教育実践研究センターは、特別支援教育に関わる教育臨床や教材開発を通して、高度な実践的指導力をもつ特別支援教育の教員養成を図るとともに、教育相談や指導者研修により、地域の教育・福祉に資することを目的として設置されています。センターでは、授業科目「学校支援フィールドワーク」と密接に関連し、大学院生が特別な教育的ニーズのある子どもへの臨床経験を積み重ね、特別支援教育に関わる指導力の向上や専門性の習得を目指した教育研究活動を行っています。また、公開セミナーや実践研究発表会も開催しています。



地図凡例



体育施設の利用について

本学では、授業はもちろん、課外活動などのできる施設を多様に整備しています。

授業などに支障が無いかぎり事前の許可を得て、使用することができます。

- 陸上競技場 ●サッカー・ラグビー場
- 野球場・ソフトボール場 ●プール
- テニスコート(オムニコート, クレイコート)
- 体育館 ●トレーニング室 ●柔・剣道場
- ダンス室 ●トレーニングルーム

大学会館

大学会館は快適な学生生活のために欠かせない場所です。食事をしたり売店で買い物をするのはもちろんですが、理容室、美容室、第四北越銀行・ゆうちょ銀行の現金自動預払機（ATM）、郵便ポスト、各種自動販売機などがあります。施設内での買い物、食事、喫茶は学生証を使いキャッシュレスでも利用できます。

また、大学生協ではない地元の業者が主体で運営していて、地元スタッフによる温かいサービスが受けられるのが魅力です。



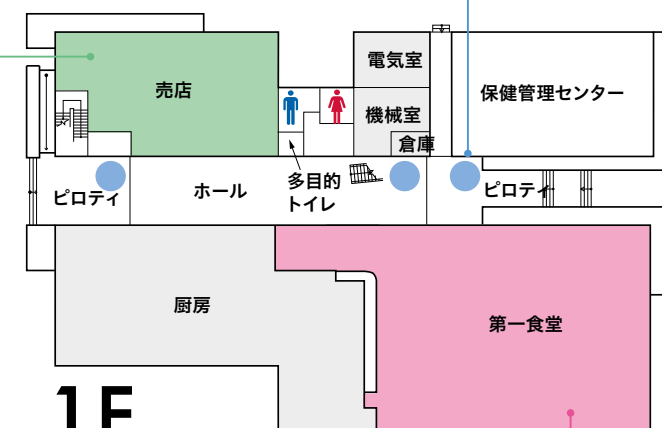
売店

売店（上越教育大学サービスセンター）は、食料品、日用品、文房具、書籍などの販売からクリーニング、宅配便の受付もしてくれます。授業で使用する教科書や専門書なども揃っています。

また、大学のイメージキャラクター「マナーブ・デ・ジョーキョー先生」のグッズや大学のロゴマークの入ったオリジナルパッケージで上越のお米や味噌などを販売しています。お土産に購入してみたいはいかがでしょうか。

ATM & 自販機

第四北越銀行、ゆうちょ銀行のATMと郵便ポストがあります。また、自動販売機もあり、災害時には緊急飲料として提供されます。附属図書館、体育館、人文棟、キャンパスライフスクエアにも同様の自動販売機が設置されています。



第一食堂（320 席）

320 席の大きな食堂が第一食堂です。朝、昼、夕と営業していて学生はもちろん、教職員も利用しています。カレーや丼物などのボリューム満点のものや、ラーメン、そばなどの麺類、魚やサラダなど安心・安全で健康面に配慮した豊富なメニューを提供しています。



アラカルトメニューの他、ベーカリーも提供しています。



食堂は部活のミーティングの前によく利用しています！（高松さん）

メニューの種類が豊富で、その日の気分に合わせて選ぶことができます。（田中さん）

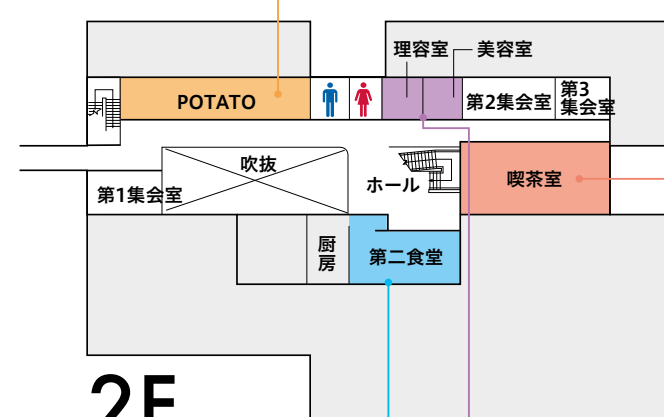


POTATO（談話室 20 席～）

談話室として、いつでも自由に利用することができます。気の合う仲間と学生生活を語り合えるのでは？



友だちと話したり、部活の打ち合わせをしたりと、いつでも自由に使うことができ便利です。（田中さん）



喫茶室（38 席）

喫茶室「ELM カフェ」は、バラエティに富んだフードメニューやホッと一息つけるカフェメニューをご用意、「笑顔になれる喫茶室」です。



理容室 & 美容室

理容室と美容室は予約をして授業の合間など都合の良い時間に利用することができるのでとても便利です。



学生証があればキャッシュレスで利用することもできます。

第二食堂（28 席）

第一食堂とは違った雰囲気、ゆっくり静かに食事をしたい時に利用してはいかがでしょうか。フリードリンク付きで値段もお手頃です。



附属図書館

約 36 万冊の図書、4,800 種余の雑誌のほか、DVD・CD などの視聴覚資料、各種データベース、電子ジャーナル約 7,700 タイトルなどが利用できます。

小学校・中学校のすべての教科書があり、教育実習前後の授業研究などに役立っています。また、過去の教科書もあり、現在の教科書との比較研究にも利用されるなど、「ぜったい先生になりたい」学生のための本を揃えています。

お盆と年末年始などを除き、土・日・祝日も開館していて、学生・教職員のほか、卒業生や地域の方々も利用しています。

開館時間

	平日	土・日・祝日
授業期間	9 時～ 22 時	11 時～ 17 時
休業期間（春・夏）	9 時～ 17 時	11 時～ 17 時
休業期間（冬）	9 時～ 17 時	休 館

各フロアの紹介

3 階建てで、入り口ゲートは2 階です。

1 階と3 階は個人で静かに学習するための場所、2 階は全体が広々とした学習スペースです。プロジェクタ、電子黒板、ホワイトボード、書画カメラなどがあり、全館に無線 LAN を整備し、多様な学習をサポートしています。



学校教育実践研究センター

学校教育実践研究センターは、学校及び地域社会と連携しながら、学校教育の実践に関する諸課題を把握し、大学教員、現職教員、学生及びその他の関係者と共同して、当該課題に関する臨床的・実践的・開発的研究を推進することによって、学校教育の改善、充実及び発展に寄与することを目的としています。

そのため、大学と地域の学校や教育機関を結ぶインターフェースとしての役割を担い、以下の事業に取り組んでいます。

1. 教育実習の推進

教育実習関連の委員会と連携・協力して、分離方式の初等教育実習をはじめとする各種教育実習の円滑な運営・実施と履修学生の指導に取り組んでいます。

2. 臨床的、実践的、開発的研究の推進

学校現場の教育課題に基づいた実践的なプロジェクトやシンポジウムを実施するとともに、学校教育に関する理論的・実践的知識を集積すべく、教育実践研究を編集・発行しています。

また、内閣官房拉致問題対策本部事務局からの依頼を受け、拉致問題に関する教育等研修に取り組んでいます。

3. 学校及び地域社会との連携・支援

教育委員会や教職員のニーズを踏まえ、教職員のための自主セミナー、新潟県立教育センターや地域の教育委員会との連携研修を企画・運営するとともに、学校評価支援アンケートシステムを開発・運用しています。



国際交流推進センター

国際交流推進センターは、国際的な学生交流及び学術交流の推進並びに教育研究の充実を図るとともに、学校及び地域社会との連携により、国際的視野を持った人材を養成することを目的として設置されています。

センターでは、異文化コミュニケーション能力と異文化理解マインドを持った教員養成の充実のため、海外の教育・文化に直接触れることのできる授業の開設や、海外留学の促進、留学生の受入れ、外国につながる子どもたちへの修学支援等を行っています。

情報メディア教育支援センター

情報メディア教育支援センターは、本学の情報システム及び情報ネットワークの管理・運用をとおして、学生・教職員の ICT 活用を図り、また、情報教育を総合的に推進することを目的としています。具体的には、①講義室、食堂などの共用スペースには無線 LAN アクセスポイントを、その他研究室などにはネットワークコンセントを設置するなど校内のさまざまな場所において、常時インターネットに接続できる学内 LAN【JUEN (Joetsu University of Education, Network)】を整備・運用しています。②教育・研究を支援するための各種情報処理関連室を整備し、授業での利用はもとより、学生の所有する PC を用いて自主学習が可能な環境を整えています。

その他にも、講義支援や業務支援などのサービスが提供できる各種システムを導入すると共に、メールシステムとして、本学独自のドメインにより、全学生に e-mail アドレスを配付しており、その活用環境の整備と運用を図るなど教育・研究の支援を行っています。

なお、本センターでは、入学時に JUEN の利用方法や情報セキュリティに関する講習会を開催しているほか、ヘルプデスクを常設して端末機器のトラブルや質問に対応しています。



▲情報セキュリティ講演会

附属学校(幼稚園・小学校・中学校)

学校教育に関する実証的な研究と学生の教育実習を行うため、附属幼稚園、附属小学校及び附属中学校が設置されています。

附属幼稚園は、幼児の豊かな体験を大切にした保育を推進するとともに、幼児教育の質向上に資するための研究・実践に取り組み、全国発信しています。

附属小学校は、全国に先駆けて総合を中核とした教育課程開発研究に取り組み、長年にわたる子ども理解の原則に基づいた研究成果は全国の学校で活かされています。

附属中学校は、ICTを用いた先進的な取組によりアップル社の「Apple Distinguished School 2019-2022」に認定されました。生徒に一人1 台の iPad を活用させることで、生徒の創造性を刺激し、多様なコミュニケーションと表現を生み出す教育活動に挑戦し、その成果を発信し続けています。



▲附属幼稚園



▲附属小学校



▲附属中学校

学生宿舎

学生に勉学と生活に適した環境を提供し、自律的な共同生活を通じて自主性・協調性のある人間形成を図るため、山屋敷地区のキャンパス内の緑に囲まれた一画に学生宿舎を設置しています。

単身用学生宿舎（男子棟・女子棟）

各居室には、机、椅子、ベッド及び内線電話（無料）等が備えてあります。（室内に水道・ガス設備はありません。）暖房は各居室に設置されていますが、冷房はないため、希望者は窓用クーラーを大学から借りることができます。また、各自で窓用クーラーを購入し、設置することもできます。

各階には、補食室、洗面・洗濯室及びトイレがあり、浴室は男女各2室あります。

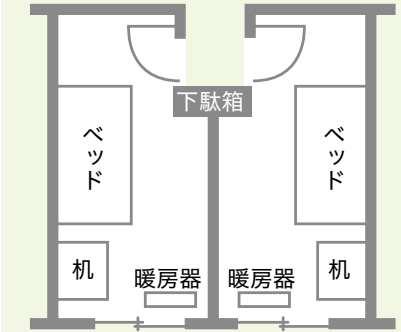
安全管理のため学生証を各玄関のカードリーダーにかざして入館します。

名 称	収容人員等	寄宿料（月額）	諸経費（月額）
単身用学生宿舎 （5階建12棟）	630人 （男子300人） 女子330人	I型 （個室） 4,300円	○共益費 2,000円 ○私生活のために 使用する光熱水料 夏期 約6,000円 冬期 約13,000円 ○窓用クーラー貸出料 （希望者のみ） 1,000円
		II型 （個室） 7,700円 ※女子棟のみ	

※共益費は改定される場合があります。

単身用個室

I型（個室／約6畳）



II型（個室／約12畳）※女子棟のみ





建物玄関
防犯用に「カードロックシステム」を設置。
入館の際、学生証をカードリーダーにかざして入ります。



補食室（共用、各階1ヶ所）
コイン式ガスコンロ・瞬間湯沸器



洗面・洗濯室（共用、各階1ヶ所）
コイン式洗濯機・乾燥機



浴室（共用、男・女各2ヶ所）

キャンパス周辺 近隣には飲食店やコンビニ、病院もあるので安心です。

